



インスタントメッセージングとプレゼンスサービスの設定

- [Cisco Unified Communications Manager リリース 10.5 以降を使用した IM and Presence サービス ワークフロー \(1 ページ\)](#)
- [Cisco Unified Communications Manager リリース 9.x 以降を使用した IM and Presence サービス ワークフロー \(2 ページ\)](#)
- [IM and Presence サービスの追加 \(2 ページ\)](#)
- [IM アドレススキームの設定 \(4 ページ\)](#)
- [メッセージの設定の有効化 \(5 ページ\)](#)
- [インスタントメッセージの設定の無効化 \(5 ページ\)](#)
- [Q&A の管理プレゼンスの設定 \(6 ページ\)](#)

Cisco Unified Communications Manager リリース 10.5 以降を使用した IM and Presence サービス ワークフロー

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	IM アドレススキームの設定 (4 ページ)	ユーザの IM アドレスを設定します。
ステップ 2	メッセージの設定の有効化 (5 ページ)	Cisco Unified Communications IM and Presence サービスで、インスタントメッセージとログインを有効にするオプションを設定します。

Cisco Unified Communications Manager リリース 9.x 以降を使用した IM and Presence サービス ワークフロー

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	メッセージの設定の有効化 (5 ページ)	Cisco Unified Communications IM and Presence サービスで、インスタントメッセージとログインを有効にするオプションを設定します。
ステップ 2	IM and Presence サービスの追加 (2 ページ)	IM and Presence UC サービスを作成します。
ステップ 3	IM and Presence サービスの適用 (3 ページ)	サービスプロファイルに IM and Presence UC サービスを追加します。

IM and Presence サービスの追加

IM and Presence サービス機能をユーザに提供します。

手順

ステップ 1 [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] インターフェイスを開きます。

ステップ 2 [ユーザ管理 (User Management)] > [ユーザ設定 (User Settings)] > [UC サービス (UC Service)] を選択します。

[UC サービスの検索と一覧表示 (Find and List UC Services)] ウィンドウが開きます。

ステップ 3 [新規追加 (Add New)] を選択します。

[UC サービスの設定 (UC Service Configuration)] ウィンドウが開きます。

ステップ 4 [UC サービスの追加 (Add a UC Service)] セクションで、[UC サービス タイプ (UC Service Type)] ドロップダウンリストから [IM および Presence (IM and Presence)] を選択します。

ステップ 5 [次へ (Next)] を選択します。

ステップ 6 次のように IM and Presence サービスの詳細を入力します。

a) [製品のタイプ (Product Type)] ドロップダウンリストから [Unified CM (IM および Presence) (Unified CM (IM and Presence))] を選択します。

b) [名前 (Name)] フィールドにサービスの名前を入力します。

入力した名前は、プロフィールにサービスを追加する際に表示されます。入力する名前は必ず、一意的でわかりやすく、かつ意味が通じるものにしてください。

- c) 必要であれば、[説明 (Description)] フィールドに説明を入力します。
- d) [ホスト名/IP アドレス (Host Name/IP Address)] フィールドに、インスタントメッセージ/プレゼンス サービスのアドレスを入力します。

重要 サービスのアドレスは完全修飾ドメイン名またはIPアドレスである必要があります。

ステップ 7 保存を選択します。

IM and Presence サービスの適用

Cisco Unified Communications Manager で IM and Presence サービスを追加したら、クライアントが設定を取得できるようにそのサービスをサービスプロフィールに適用する必要があります。

始める前に

[IM and Presence サービスの追加 \(2 ページ\)](#)

手順

ステップ 1 [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] インターフェイスを開きます。

ステップ 2 [ユーザ管理 (User Management)] > [ユーザ設定 (User Settings)] > [サービス プロファイル (Service Profile)] の順に選択します。

[サービス プロファイルの検索と一覧表示 (Find and List Service Profiles)] ウィンドウが開きます。

ステップ 3 目的のサービス プロファイルを検索し、それを選択します。

[サービス プロファイルの設定 (Service Profile Configuration)] ウィンドウが開きます。

ステップ 4 [IM/プレゼンス プロファイル (IM and Presence Profile)] セクションで、次のドロップダウンリストから、サービスを最大 3 つ選択します。

- **Primary**
- セカンダリ
- ターシャリ (Tertiary)

ステップ 5 [保存] をクリックします。

IM アドレススキームの設定

この機能は、Cisco Unified Communications Manager IM and Presence Service リリース 10.x 以降でサポートされます。Cisco Unified Communications Manager IM and Presence Service リリース 9.x 以前のバージョンで使用されるデフォルト IM アドレススキームは、UserID@[Default Domain] です。

手順

ステップ 1 [IM アドレススキーム (IM Address Scheme)] を選択します。

- a) [Cisco Unified CM IM and Presence の管理 (Cisco Unified CM IM and Presence Administration)] を開きます。
- b) [プレゼンス (Presence)] > [設定 (Settings)] > [詳細設定 (Advanced Configuration)] を選択します。
[プレゼンスの詳細設定 (Advanced Presence Settings)] ウィンドウが開きます。
- c) [IM アドレススキーム (IM Address Scheme)] を選択し、リストから次のいずれかを選択します。

- UserID@[Default Domain]

ユーザ ID を使用する場合は、デフォルト ドメインが設定されていることを確認します。たとえば、サービスには cups ではなく、cups.com という名前を付ける必要があります。

- Directory URI

ステップ 2 必要なマッピングを選択します。

- a) [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] を開きます。
- b) [システム (System)] > [LDAP] > [LDAP ディレクトリ (LDAP Directory)] を選択します。
[LDAP ディレクトリの検索と一覧表示 (Find and List LDAP Directories)] ウィンドウが開きます。
- c) リストからディレクトリを検索して選択します。
[LDAP ディレクトリ (LDAP Directory)] ウィンドウが開きます。
- d) [同期対象の標準ユーザフィールド (Standard User Fields To Be Synchronized)] セクションで、マッピングを選択します。

- LDAP フィールドにマッピングされるユーザ ID。デフォルトは **sAMAccountName** です。

- **mail** と **msRTCSIP-primaryuseraddress** のどちらかにマッピングされるディレクトリ URI。

メッセージの設定の有効化

インスタントメッセージング機能を有効にし、設定します。

手順

ステップ 1 [Cisco Unified CM IM and Presence の管理 (Cisco Unified CM IM and Presence Administration)] インターフェイスを開きます。

ステップ 2 [メッセージング (Messaging)] > [設定 (Settings)] の順に選択します。

ステップ 3 次のオプションを選択します。

- インスタントメッセージを有効にする (**Enable instant messaging**)
- クライアントでのインスタントメッセージ履歴のログ記録を可能にする (**Allow clients to log instant message history**)
- インスタントメッセージでの切り取り/貼り付けを可能にする (**Allow cut & paste in instant messages**)

ステップ 4 他のメッセージング設定も適切に選択します。

ステップ 5 [保存 (Save)] を選択します。

重要 Cisco Jabber は、Cisco Unified Communications Manager IM and Presence Service リリース 9.0.x の [プレゼンスの設定 (Presence Settings)] ウィンドウで次の設定をサポートしません。

- [ユーザの通話中に DND ステータスを使用する (Use DND status when user is on the phone)]
- [ユーザがミーティングに参加しているときに DND ステータスを使用する (Use DND status when user is in a meeting)]

次のタスク

- Cisco Unified Communications Manager IM and Presence Service リリース 9.x 以降を使用している場合は、[IM and Presence サービスの追加 \(2 ページ\)](#)。

インスタントメッセージの設定の無効化

連絡先を展開する電話モードでは、インスタントメッセージが電話モードでの展開に適用されないため、ユーザのインスタントメッセージをオフにすることができます。

手順

- ステップ 1 [Cisco Unified CM IMおよびプレゼンス管理 (Cisco Unified CM IM and Presence Administration)] から、[メッセージ (Messaging)] > [設定 (Settings)] に移動します。
- ステップ 2 [インスタントメッセージを有効にする (Enable instant messaging)] をオフにし[保存 (Save)] をクリックします。
-

次のタスク

Cisco XCP Router サービスを再起動します。

Q&A の管理プレゼンスの設定

ユーザのプレゼンス設定は、デフォルトで有効になっています。ただし、連絡先展開を使用した電話モードでは、プレゼンス設定を無効にしても、そのユーザはクライアントに表示されません。

手順

- ステップ 1 [Cisco Unified CM IM and Presence の管理 (Cisco Unified CM IM and Presence Administration)] から、[プレゼンス (Presence)] > [設定 (Settings)] > [標準設定 (Standard Configuration)] に移動します。
- ステップ 2 [プレゼンスステータスの共有を有効にする (Enable availability sharing)] をオフにして[保存 (Save)] をクリックします。
-

次のタスク

Cisco XCP Router サービスを再起動します。